

行政防災無線補完システム 導入に至る長年の課題

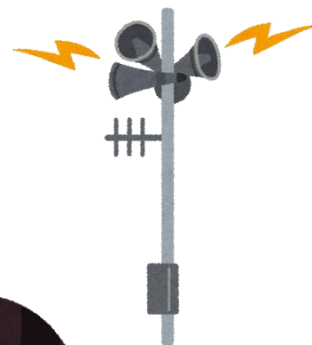
目的：防災行政無線放送内容伝達手段の
多様化及び災害発生等緊急時における速や
かな情報伝達を図る

防災行政無線放送が聞こえにくい

町からの情報が即座に取得できない

メール、電話、ツイッターなど、
伝達手段を増やしてはいるものの
まだまだ不十分。

災害時に情報が必要な場所に、
プッシュ型で情報を配信する必要がある。



大磯町防災アプリ導入の狙い

- ・ 防災行政無線が届きづらい地域に確実に伝達
- ・ 防災行政無線放送を **目**(文字)と**耳**(音声)で伝達



全町民が情報取得するために最も効率的

システムの概要

防災行政無線で伝達している内容はもとより、防災の知識、取り組み、気象情報等防災に関する情報を専用アプリで配信するというもの。

町



IP電波を利用し
災害情報を発信

(IP通信網方式はH29. 12より検討開始)

町民



それぞれが所有する
スマートフォンで情報入手

スマホをお持ちでない方や以下の方々に

タブレットの配布

- ・ 防災行政無線が聞こえない聴覚障がいの方
- ・ 放送が特に聞こえづらい地域にお住まいの方
- ・ 地区や自主防災組織の核となる方

等へタブレットを配布し、更に充実を図ります。

町民による自助・共助の観点から

- ・自主防災活動が活発であり、地域のつながりが強いことが、大磯町の防災行政における強み
- ・近年では、防災ミーティングや訓練を通じて『自助』『共助』の精神が町民に根付きつつある

タブレットを地区に配布する意味

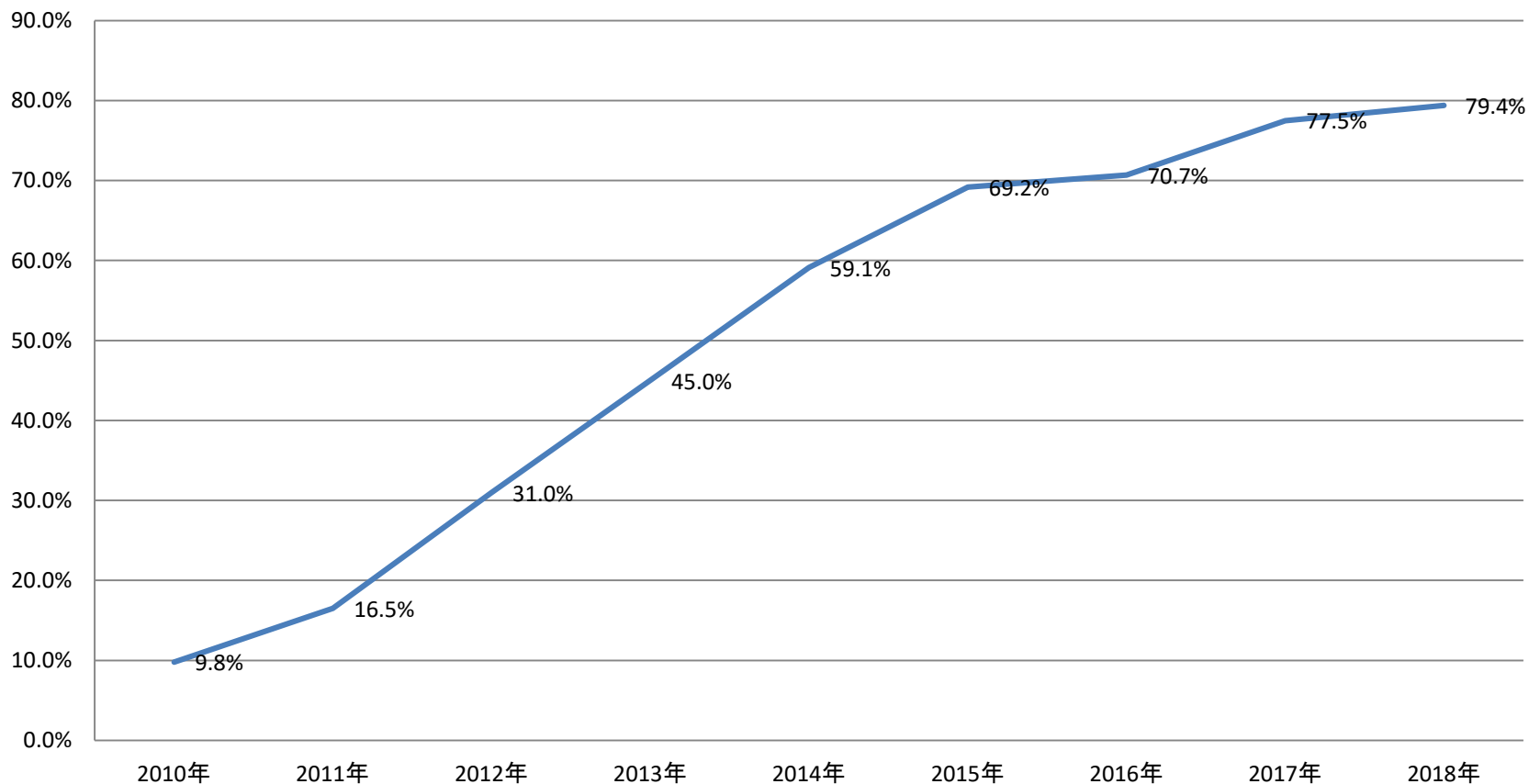
町の姿勢として、自助や共助を後押しすることが大切・・・



地区への確実な情報伝達及び地区とのやり取りが容易に！

情報通信機器の保有率の推移

スマートフォン所有率



〔ポイント〕

スマートフォンの保有率は右肩上がり。今後も一層の上昇が予測される。

導入メリット

システム全体

- ・ 町民は、より多くの情報を入手できるようになることで、災害啓発になるとともに安心感が得られる
- ・ ハザードマップの閲覧や、登録時に地区を登録することによるピンポイント情報発信が可能
- ・ 多数の町民が自前のスマートフォンを使用するため、購入費、通信費等の町負担なし
- ・ 観光、福祉、広報の補完等、幅広い町政に活用可能
- ・ 行政からの情報伝達のほか、地区からの投稿や報告、災害時に避難所との調整等のやりとりが可能